

「かながわけんみんな防災カード」の作成及び配布に協賛

～神奈川県地震災害対策・普及啓発事業に賛同・「ハザードマップと一緒に読む本」を掲載～

日本損害保険協会関東支部神奈川損保会(会長：南井 敬司 東京海上日動火災保険株式会社 横浜中央支店長)では、神奈川県地震災害対策の普及啓発事業に賛同し、今年度も同県が実施する「かながわけんみんな防災カード」の作成及び配布に協賛しました。

神奈川県では、大規模な災害から「いのち」を守るには、日ごろからの備えが大切として、「自助」や「防災力」アップのため、地震などの災害が発生した時に対応すべき行動、災害用伝言ダイヤル「171」の使い方等、災害時に必要な情報がコンパクトに記載されたポケットサイズ(両面印刷の六つ折り)のぼうさいカードを作成し、県民に広く配布しています。

今年度、当損保会では、防災意識の向上に資する取組みとして、本カードの協賛事業者の事業案内を掲載するスペースに、洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップ向け副読書「ハザードマップと一緒に読む本」(※)の案内を掲載し、関係者・お客様等に配布するなど周知しました。

当支部では、今後も行政等と連携して、県民に向けた自然災害リスクの啓発と自然災害等の事前の備えの促進に関する取組みを行っていきます。

※「ハザードマップと一緒に読む本」

全国の市町村において住民向けに作成されている洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップの理解を促すための副読書です。自然災害への備えについては、国の対策に加えて、日頃から国民一人ひとりが考えて必要な対策を講じる「自助」、そしていざというときに地域住民が協力し合う「共助」の取組みが必要です。本副読書は、自然災害への対策等について住民自ら考えてもらえるようにストーリー性を持たせることにより、洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップの訴求ポイントが理解できるよう工夫してまとめています。



かながわけんみんな防災カード

□ 関連リンク(神奈川県ホームページ) <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/cnt/f480046/index.html>